

吉村 弘 風景の音 音の風景

YOSHIMURA Hiroshi: Ambience of Sound, Sound of Ambience

2023年4月29日（土・祝）-9月3日（日）

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館



吉村弘撮影「海」1980年代

1970年代初めから環境音楽の先駆けとして活躍した吉村弘（よしむら・ひろし/1940-2003）。2003年の葉山館開館を機に吉村が作曲したサウンドロゴ『Four Post Cards』は、現在も葉山館で朝夕に館内を流れ、来館者を惹きつけています。

エリック・サティの楽譜に魅せられて音楽の道に進んだ吉村の活動は、音楽ばかりでなく、音を描くドローイングやパフォーマンス、サウンドオブジェ（音具）の創案、執筆と幅広いものでした。なかでも、1982年にリリースされたLP『Music For Nine Post Cards』は、環境音楽という言葉をも日本で広く世に知らせるきっかけとなりました。

一方で釧路市立博物館（北海道、1983年）や営団地下鉄南北線（東京都、1991年）、横浜国際総合競技場の外周部（神奈川県、1998年）など、公共空間の音響デザインを多く手がけ、また早くから美術館で開催する音をテーマとしたワークショップにも力を注ぎました。

雲のように空に溶け、広がっていく音の風景。吉村が目指した「空気に近い音楽」は今、コロナ禍で不自由な生活を強いられてきた人々の心を癒し、新鮮な驚きとともにあらためて注目されています。

没後20年を記念する本展では、初期のコンクリートポエトリー、楽譜、写真、映像作品、サウンドオブジェ、モビールなどのほか、小杉武久（こすぎ・たけひさ/1938-2018）や鈴木昭男（すずき・あきお/1941-）とともにいったパフォーマンスやサウンドインスタレーション、公共施設のための音楽など、吉村の多面的な活動を資料群によって紹介します。

展覧会のみどころ

1. 吉村が1985年に撮影した『Rain』『Tokyo Bay』『Pianistic Interiors – May』『Clouds』『Summer』の5本の映像作品を初公開します。
2. 2016年に閉館した鎌倉館で開館・閉館時に流れていたサウンドロゴが7年ぶりに鎌倉別館で復活します。

開催概要

展覧会名：吉村弘 風景の音 音の風景

主催：神奈川県立近代美術館

担当学芸員：長門佐季、三本松倫代

会期：2023年4月29日（土・祝）-9月3日（日）

会場：神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

開館時間：午前9時30分-午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（7月17日を除く）

観覧料：一般700円／20歳未満・学生550円／65歳以上350円／高校生100円

- ・中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方（および介助者原則1名）は無料です。
- ・ファミリー・コミュニケーションの日（毎月第1日曜日：6月4日、7月2日、8月6日、9月3日）は、18歳未満のお子様連れのご家族は割引料金（65歳以上の方を除く）でご覧いただけます。また同日は会話を楽しむ日「オープン・コミュニケーション・デー」となりますので、小さなお子様連れの方も遠慮なくご覧ください。
- ・その他の割引につきましてはお問い合わせください。
- ・最新情報と来館に際してのお願いは美術館ウェブサイト等を確認してください。

お問合せ先

広報担当：永井

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

Tel：0467-22-5000 Fax：0467-23-2464

E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.lg.jp

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1

www.moma.pref.kanagawa.jp

公式Twitter: @KanagawaMoMA

同時開催の展覧会

葉山館

4月22日（土）-7月2日（日）

企画展「生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良」

コレクション展「野崎道雄コレクション受贈記念 見えないもの、見たいところ」

7月15日（土）-9月24日（日）

企画展「挑発関係 = 中平卓馬 × 森山大道」

コレクション展「加納光於 色（ルーパ）、光、そのはためくものの」

広報用画像データ一覧 [2023年6月第2版：展示風景写真を広報用画像に追加しました]

本展広報のための画像データ（印刷用350dpi/オンライン用72dpi）をご用意しております。
ご希望の場合は次の必要事項を明記し、広報担当宛にEメールでお申し込みください。

展覧会名/希望画像アルファベット/データサイズ（350 or 72 dpi）/社名/媒体名/掲載予定日/
担当者名/連絡先

1. 作品画像（11点）

- A) 吉村弘撮影「海」1980年代 35mmリバーサルフィルム 神奈川県立近代美術館蔵
- B) 吉村弘「HOT BREATH 地下室にひそむ魚たちの熱い吐息 実験室とメディアの箱」でのサウンド・パフォーマンス（1977年9月10日） 個人蔵 撮影：安齊重男©Shigeo Anzai
- C) 吉村弘 楽譜『Clouds for Alma アルマの雲』（一部）1978年 インク、写真、紙 個人蔵 撮影：久保良
- D) 吉村弘『おやすみのまえに』楽譜表紙 1966年 鉛筆、紙 個人蔵 撮影：久保良
- E) 吉村弘《SOUND PLANET》1990年 銅、真鍮、鉄、ステンレスワイヤー、アルミ 神奈川県立近代美術館蔵 撮影：上野則宏
- F) 吉村弘《トイピアノ》1973年頃 外箱、トイピアノ、ロール楽譜 神奈川県立近代美術館蔵 撮影：上野則宏
- G) 吉村弘《[絵楽譜] FLORA》1987年 印刷、紙 神奈川県立近代美術館蔵 撮影：久保良
- H) 吉村弘《SOUND LETTER (1)》1988年 ビーズ、印刷、紙 神奈川県立近代美術館蔵 撮影：久保良
- I) 吉村弘《LETTER GARDEN (2)》1987年 植物、紙 神奈川県立近代美術館蔵 撮影：久保良
- J) 吉村弘《サウンド・スカルプチャー》1984年頃 インク、紙 神奈川県立近代美術館蔵 撮影：久保良
- K) 「耳からの風景 吉村弘のパフォーマンス」で使用したカン楽器《F・CAN》（2001年9月8日、ジーベックホールホワイエ）個人蔵

2. 本展 会場風景画像（7点）

- L) 「吉村弘 風景の音 音の風景」展示風景 撮影：上野則宏
- M) 「吉村弘 風景の音 音の風景」展示風景 撮影：上野則宏
- N) 「吉村弘 風景の音 音の風景」展示風景 撮影：上野則宏
- O) 「吉村弘 風景の音 音の風景」展示風景 撮影：上野則宏
- P) 「吉村弘 風景の音 音の風景」展示風景 撮影：上野則宏
- Q) 《CLOUDS SCENE》オリジナル1978年/2005年/2015年 針金、手ぐす、ウレタンボード、塗料、紙 神奈川県立近代美術館蔵 撮影：上野則宏
- R) 「吉村弘 風景の音 音の風景」通路 撮影：上野則宏

A



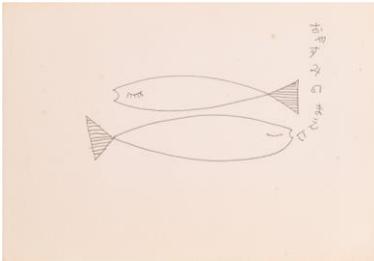
B



C



D



E



F



G



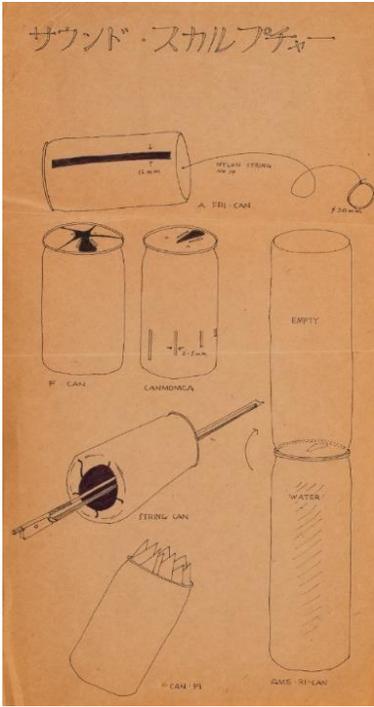
H



I



J



K



L



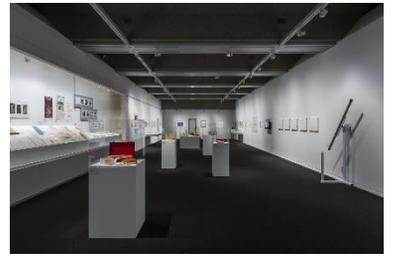
M



N



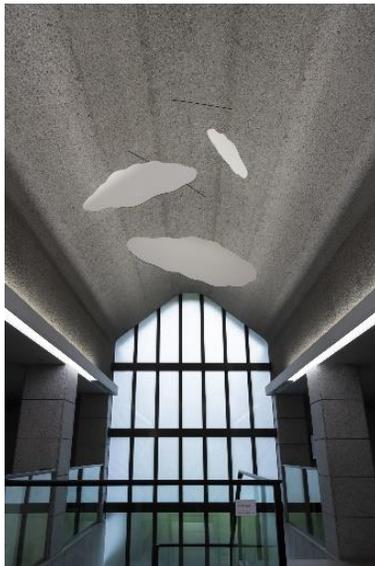
O



P



Q



R

